

## 相双地域支援サテライトとは？

震災から1年余り経過した2012年6月、川内村に被災地域支援の現地拠点として設置、同年10月、駐在職員3名を配置しました。  
その後、被災地域の避難指示が解除され住民の帰還が進むなかで活動拠点を順次移転し、現在は福島大学のほか富岡町と浪江町にサテライトを設置し、被災12市町村を対象とした支援活動を行っています。

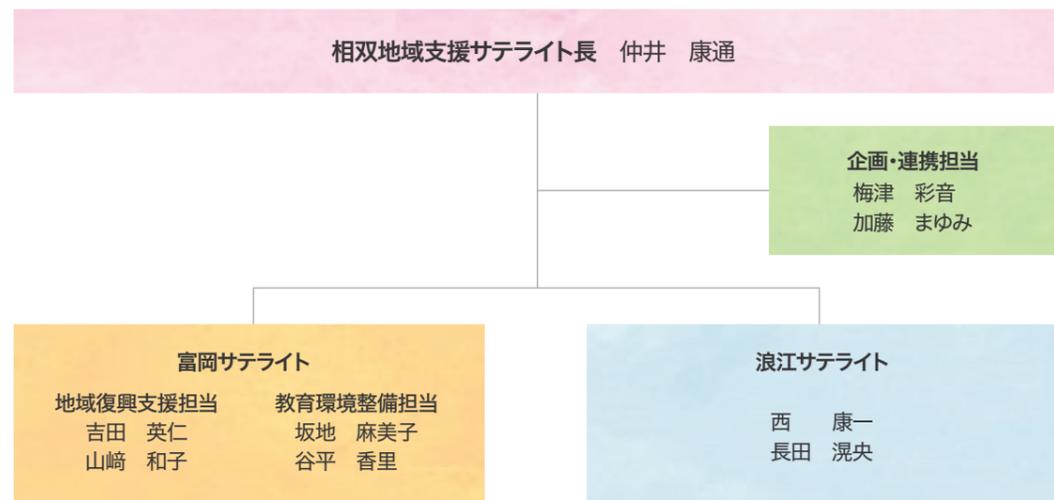
### 沿革

- 平成24年 6月 川内村に「いわき・双葉地域支援サテライト」開設
- 平成27年 8月 同サテライトを楡葉町に移転
- 平成28年 4月 「いわき・相双地域支援サテライト」を「相双地域支援サテライト」に改称
- 平成29年 5月 南相馬市に「南相馬分室」開設
- 令和2年 8月 楡葉町の同サテライトを富岡町に移転
- 令和3年 4月 川内分室、南相馬分室を閉鎖し浪江町にサテライトを新設  
「富岡サテライト」「浪江サテライト」と改称

### 所在地

<b>企画・連携担当</b> 〒960-1296 福島県福島市金谷川1 (福島大学地域未来デザインセンター内)	
<b>富岡サテライト</b> 〒979-1192 福島県双葉郡富岡町大字本岡字王塚622-1 (富岡町役場内)	
<b>浪江サテライト</b> 〒979-1592 福島県双葉郡浪江町大字幾世橋字六反田7番地2 (浪江町役場内)	

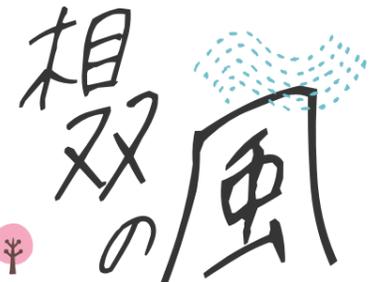
### 組織図



2カ所のサテライトに職員が駐在し、大学のノウハウやそれぞれの社会経験を生かして支援活動に取り組んでおります。  
なお、新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大している状況を踏まえ一部の活動を自粛しております。



「相双の風」は、被災地域の今と、福島大学相双地域支援サテライトの取り組みを紹介するニュースレターです。相双地域支援サテライトは被災地と福島大学をつなぐ現地拠点として、被災地域復興に向けた支援活動を行っています。



### TOPICS | トピックス

## 壁画を見に双葉町へ来ませんか

双葉町で壁画を楽しむことができるのを皆さんはご存知ですか？  
2020年から双葉町で始まったプロジェクト「FUTABA Art District」により、双葉町内の各所に壁画が描かれています。  
この壁画は、東京都に本拠地のあるアート会社(株)OVER ALLsの皆さんにより描かれており、「双葉町をアートで盛り上げよう！」というコンセプトで始まったものです。  
描かれているのは双葉町のシンボル「ダルマ」をはじめ、町にゆかりのある人物や行事をモデルにしたもので、ひとつの壁画あるいは制作された壁画全体により記憶に残る双葉町とこれからの双葉町が表現されています。  
今年6月以降に、特定復興再生拠点区域の避難指示解除と住民帰還という新たなスタートを切る双葉町だからこそ表現できたアート。これまでに9つの壁画が制作されました。ぜひ双葉町にお立ち寄り、ご覧ください。



福島大学公式マスコットキャラクター めばえちゃん

被災地域の復興に向け、一方的な支援ではなく、地域に根差した支援と一緒に取組んでいきたい！  
地域の皆さんが主体となって取組みを進める中で、不足している部分をサポートしていくことが私たちサテライトの役割であると考えています。



## 01. 被災市町村の課題解決支援

- 1 被災市町村が抱える課題の把握
- 2 役場職員を対象とした研修
- 3 県内外に向けた被災地情報の発信
- 4 農業再生に向けての支援
- 5 役場等との連携業務



### PICK UP! 役場職員を対象とした研修

被災地域の役場職員等については、東日本大震災・原発事故による避難とその後の帰還を通してベテラン職員が多く退職したこともあり、現職員にかかる業務負担は大きく、日々の業務に追われているのが実情です。このため、地域経済、先端農業などをテーマに福島大学教員等を講師とする講座を開催します。



▲役場職員を対象とした研修

### PICK UP! 農業再生に向けての支援

農家へのヒヤリングを基に、現場と専門家とのつなぎ役としての活動と大学の研究補助等を通して被災地域の農業再生に向けた取組みを支援しています。

今年度も、細やかな農家への聴き取りを通して現状を把握するとともに、福島大学食農学類との連携をさらに深め、営農再開に向けた取組みを支援していきます。



▲農業再生に向けての支援

### PICK UP! 県内外に向けた被災地情報の発信

震災から11年が経過し被災地域の復興は徐々に進みつつありますが、その一方で、首都圏はじめ県外では記憶の風化が進んでいます。「福島から学ぶ地域防災」写真展等を県内外で開催することにより、被災地域の復興に向けての取組みや現状を広く発信します。



▲県内外に向けた被災地情報の発信

### PICK UP! 役場等との連携業務

震災からの復興状況は市町村間で異なっています。各市町村のニーズに沿った支援活動を役場等と連携して行います。

## 02. 被災地の教育環境向上

- 1 教育現場が抱える課題の把握
- 2 教育環境整備に向けたワークショップの開催
- 3 福島大学キャンパスツアーの実施
- 4 保育職員等に対する指導支援



### PICK UP! 教育環境整備に向けたワークショップの開催

サテライトでは平成28年度より被災市町村の子どもたちを対象に、科学実験教室や体力向上を目指した身体表現のワークショップを開催してきました。

子どもたちにもものをつくる楽しさ・学ぶことの楽しさを知ってもらうため、今年度もこれらのワークショップを開催します。

#### 実施例

- 動画制作ワークショップ
- LEDワークショップ
- 時計組立教室
- 体力向上を図る体操教室



### PICK UP! 保育職員等に対する指導支援

幼・保・こども園の再開が進むなかで、保育職員のスキルアップや情報収集のための研修を望む声があがっています。園児への実技指導や懇談会を通して、保育職員のスキルアップを図ります。



▲教育環境整備に向けたワークショップの開催

## 03. 情報発信

- 1 サテライト広報誌の発行
- 2 関係市町村等外部への情報提供
- 3 相双地域支援サテライト活動報告会の開催



### PICK UP! サテライト広報誌の発行

被災地域全体を見ると、帰還を開始して間もない町村、これから帰還を開始する町村もあれば、早期に帰還して将来のまちづくりについて考えるフェーズに入っている町村もあります。

今年度も引き続きサテライト広報誌「相双の風」を発行し、各町村での取組みなどをお知らせいたします。

### PICK UP! 関係市町村等外部への情報提供

展示会への出展、ホームページによる情報提供などを通して、サテライトの取組みを外部に発信します。また、被災地域の今を伝える地図「ぐるぐるマップ」を引き続き発行します。